

# 6 大和ものがたり

月号

ASA大和北部  
高木2-101-6  
Tel: 561-3039  
ASA大和南部  
立野3-572-2  
Tel: 563-7719

## ◆市制50周年記念◆ まぼろしの

### 「東京都大和市」

大正8年11月に芋窪、蔵敷、奈良橋、高木、狭山、清水の6か村が大いに和すことを名とする「大和村」となり、昭和29年5月に町制が施行され「大和町」へ。

さらに昭和45年10月1日に「大和町」から「東大和市」になりました。

そして今年、市制50周年という節目の年になります。

そこで今回は50年前の市制施行当時の話を東大和市役所企画財政部副参事の星野さんに伺ってきました。



市制50周年記念ロゴマーク

## 市制施行当時の様子

市制施行当時の資料により、昭和45年4月1日現在の東京都の推計人口で、4万4165人となっており、その後も毎年約7%の増加が想定されてきました。これは、昭和35年から47年にかけての公営・公社等の住宅建設によるものが大きいとされており、都営住宅、公社住宅、西武住宅等々と建設されて人口が増加してきました。



50年前の市役所入口

小・中学校については、小学校が6校、中学校が2校で児童・生徒数は、6410人でした。現在（令和2年4月1日）の住民基本台帳人口は、8万5266人で、市制施行時と比べると約4万1000人が増加しています。また、小学校が10校、中学校が5校で、児童・生徒数（令和2年4月7日）については、6478人となっております。50年前の人数とあまり変わっていないことが分かります。

しかし、市制施行の際に全国に「大和」を名称とする市町村が14団体あり、隣接の神奈川県には「大和市」があることから、同一又は類似の名称による混乱を避けるため、「東京の大和」ということで、「東大和市」となりました。

源は、大正8年11月の村制施行までさかのぼります。当時、政争の盛んであった芋窪、蔵敷、奈良橋、高木、狭山、清水の6か村がまとまり、和して一つの村にまとめられたことから、「大和（村）」となりました。昭和29年5月町制施行後も「大和町」として住民に親しまれてきました。

「大和町」を「大和市」とすること、に、「町を市とする処分」にするためには、地方自治法（昭和22年法律第67号）という法律にのっとって行います。まず、最初に「大和町」を「大和市」とする手続を行います。その後、「大和市」を「東大和市」名称となったわけですが、興味がある方は、ぜひ

## 市名称選定の理由

まず、「大和」の由来について説明します。「大和」という名称の起源は、大正8年11月の村制施行までさかのぼります。当時、政争の盛んであった芋窪、蔵敷、奈良橋、高木、狭山、清水の6か村がまとまり、和して一つの村にまとめられたことから、「大和（村）」となりました。昭和29年5月町制施行後も「大和町」として住民に親しまれてきました。

## まぼろしの 東京都大和市

皆さんは、「東京」に「大和市」が存在していることを聞いたことがありませんか。それは、「東大和市」が「大和市」であったことを示す、書面上存在している「まぼろし」の市です。これは、「町」が「市」になった経緯と関係があります。そして、この「大和町」の名称変更の手続きは、最後に読者へ何かメッセージを下さい。

【問合せ先】  
東大和市役所 企画財政部企画課  
Tel: 042-563-2111 内線 1470

